



保険金サービス担当者がおすすめる

事故防止策

自動車の
冠水
編

事故対応の最前線にいる担当者がお伝えしたいこと

近年、線状降水帯がもたらす大雨やゲリラ豪雨による冠水で、広域災害が頻発しています。修理工場に被害を受けた車両が殺到すると損害確認、修理に時間を要します。実際に保険金をお支払いしたケースなどを踏まえ、しっかりとした対策をしていきましょう。



© JAPAN-DA



低い場所の走行は
避けましょう！

いつも水がない所に水がある時は注意が必要です！「たぶん大丈夫」と思って突っ込むのは危険です。対向車からの水を被ることもあります！警報発令時はアンダーパスを通過しないなど、過去に冠水した箇所をあらかじめ確認しておきましょう。



水溜りを走行する時は、
ゆっくり静かに！



自動車が速度を上げると、空気の吸入量も増えます。空気の吸気口はヘッドライト下など意外と低い場所にあります。そこから水が入るとエンジンに水が溜まり、自動車は動かなくなります。ディーゼル車はガソリン車に比べて吸い込みが強く、より注意が必要です。

大切なお車の避難先、
決めていますか？

建物は無理でも、人と車は避難できるという意識で、警報が出る前から、すぐ避難できるよう、準備をしておきましょう。避難先をあらかじめ確認しておくことが大切です。



冠水したらエンジン始動や、
自走はしない！

万が一お車が水に浸かったら、エンジンの始動や自走は控えましょう！ハイブリット車は冠水の水位がシート座面下部に達している場合でも部品の破損や、漏電・感電・車両火災の危険があります。





「水のう」の作り方

© JAPAN-DA



台風や大雨の時、屋内への浸水や土砂の侵入を防ぐために使う「土のう」。
「土のう」の準備は大変ですが、「水のう」はご自宅でも作ることができます！

【準備するもの】

- ・家庭用ゴミ袋(45リットル程度)
- ・水
- ・あれば、ホース



【作り方】

- ・ゴミ袋を二重または三重にします。
- ・ゴミ袋の半分を目安に、水を入れます。
- ・口をきつく絞ります。
- ・玄関前など、浸水を防ぐ場所に並べます。



※ホースがあると、設置したい場所で作業することができます。

※トイレ、お風呂、洗面所、洗濯機などの排水口の上に
「水のう」を乗せると、汚水の逆流を防ぐ効果があります。

【強度を上げるために】

- ・「水のう」を段ボールの中に入れる。
- ・ビニールシートやレジャーシートを敷き、「水のう」を入れた段ボールを置いてシートで巻く。
- ・屋内側にも「水のう」を置いて、隙間を埋める。

【事故の時にこそ気を付けて！】

■ 格安レッカー ■

インターネット等で格安を謳う業者に依頼した際、利用後の料金トラブルが最近増えています。保険会社への依頼をお願いいたします。損保ジャパンではインターネットでもレッカーの手配が可能です！



■ 住宅修理 ■

「保険金が使える」と言って不要な修理を勧誘してくるなど、悪質な業者とのトラブルが増えています。ご注意ください。



防災の準備と一緒に、保険内容のご確認をお願いします。